

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【公開番号】特開 2019-69317 (P2019-69317A)

【公開日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【年通号数】公開・登録公報 2019-017

【出願番号】特願 2019-21565 (P2019-21565)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 13 日 (2019.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の球タンクに貯留した遊技球を用いて賞球を払い出すことが可能な遊技機において

、  
賞球を払い出す際に用いられる賞球通路と、  
遊技機裏面側の排出口から遊技機外に遊技球を排出する際に用いられる排出通路と、  
前記球タンクから流下する遊技球を、前記賞球通路と前記排出通路の何れに流下させる  
か切り換える切換片と、を備え、  
前記切換片は、前記排出通路への球流下を制限するとともに前記賞球通路への球流下を  
許容する通常状態と、  
前記賞球通路への球流下を制限するとともに前記排出通路への球流下を許容する球抜状  
態と、に変化可能であり、  
前記切換片が前記通常状態にあるときは、前記球タンクから流下した遊技球が前記切換  
片に衝突して、当該遊技球が前記賞球通路側に誘導されうるものであり、  
さらに、前記切換片が前記通常状態にあるときは、前記排出通路への球流下が制限され  
つつも、遊技球の径よりも小さい連通領域によって前記切換片の上流側の球通路と前記排  
出通路とが連通するように構成されてなり、  
前記切換片が前記球抜状態にあるときは、当該切換片が揺動状態とされ、前記球タンク  
から流下した遊技球が前記切換片に衝突するも、当該遊技球が前記賞球通路側に誘導され  
ることなく前記排出通路を流下する  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

一般的な従来 of 遊技機においては、払出装置の動作に悪影響を与えるおそれのあるホコ  
リ等を、タンクレール 1 3 3 の底部に設けた穴部 1 7 3 から落下させている（特許文献 1  
参照）。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2009 - 247633 号公報

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

ところが、従来の構成では、遊技球の排出構成に改善の余地があった。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、遊技球の排出構成を新規な態様にした遊技機を提供することを目的とする。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上述した目的を達成するため、本発明の遊技機は、所定の球タンクに貯留した遊技球を用いて賞球を払い出すことが可能な遊技機において、

賞球を払い出す際に用いられる賞球通路と、

遊技機裏面側の排出口から遊技機外に遊技球を排出する際に用いられる排出通路と、

前記球タンクから流下する遊技球を、前記賞球通路と前記排出通路の何れに流下させるか切り換える切換片と、を備え、

前記切換片は、前記排出通路への球流下を制限するとともに前記賞球通路への球流下を許容する通常状態と、

前記賞球通路への球流下を制限するとともに前記排出通路への球流下を許容する球抜状態と、に変化可能であり、

前記切換片が前記通常状態にあるときは、前記球タンクから流下した遊技球が前記切換片に衝突して、当該遊技球が前記賞球通路側に誘導されうるものであり、

さらに、前記切換片が前記通常状態にあるときは、前記排出通路への球流下が制限されつつも、遊技球の径よりも小さい連通領域によって前記切換片の上流側の球通路と前記排出通路とが連通するように構成されてなり、

前記切換片が前記球抜状態にあるときは、当該切換片が揺動状態とされ、前記球タンクから流下した遊技球が前記切換片に衝突するも、当該遊技球が前記賞球通路側に誘導されることなく前記排出通路を流下する

ことを特徴とする。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0007  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0008  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0009  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正10】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0010  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0010】

本発明に係る遊技機によれば、遊技球の排出構成を新規な態様にした遊技機を提供することができる。